

賢い人たちの言葉を聞きましょう

「耳を傾けて賢い人たちの言葉を聞け」。 [格言 22:17](#) 耳を傾けて賢い人たちの言葉を聞け。私の知識を心から受け入れるためである。

[123 番の歌](#) 神の秩序にいつでも従う

何を学ぶか*エホバに仕える人たちは、聖書に基づく助言やアドバイスに耳を傾けることの大切さをよく理解しています。とはいえ、それに従うのは難しいこともあります。なぜでしょうか。どうすれば、そうした助言やアドバイスを役立てることができるでしょうか。

1. どんな形で助言やアドバイスを与えられることがありますか。私たち全てに助言やアドバイスが必要なのはなぜですか。

私たちは誰でも、助言やアドバイスを必要とするものです。信頼している人に自分からアドバイスを求めることもあれば、私たちのことを心配した兄弟から、このまま行くと「道を踏み外し」て後悔するようなことをしてしまう危険がある、と指摘されることもあるでしょう。（[ガラ 6:1](#) 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして十分に資格がある(*聖なる力に導かれている)皆さんは、その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください) また、重大な間違いを犯した後に助言を受けるということもあるかもしれません。どんな形で助言やアドバイスを与えられるとしても、私たちはそれに耳を傾ける必要があります。そうするなら、私たちのためになり、命を守ることもできるからです。（[格 6:23](#) おきてはランプ、律法は光、指導のための戒めは命への道）

2. [格言 12 章 15 節](#)からすると、助言やアドバイスに耳を傾けるべきなのはなぜですか。

2 この記事の主題聖句には、「賢い人たちの言葉を聞け」とあります。（←[格 22:17](#)）知らないことは何もない、という人は一人もいません。自分よりもたくさんの知識を持っていたり、経験を多く積んでいたたりする人が必ずいるものです。（[格言 12:15](#) 愚かな人は自分の道は正しいと思うが、賢い人は助言を受け入れるを読む。）ですから、助言やアドバイスに耳を傾けることは、謙遜さの表れです。自分には限界があることや、目標を達成するには助けが必要であることをわきまえていることになるからです。賢い人だったソロモン王も、聖なる力に導かれて、「助言者が多ければ達成される」と書きました。（[格 15:22](#)）



どちらの助言の方が受け入れにくいと感じるだろうか。（3-4 節を参照。）

3. 助言にはどんなものがありますか。

3 助言には、間接的なものと直接的なものがあります。**間接的な助言**とは何でしょうか。例えば、**聖書**や**出版物**を読んでいる時に、**自分の考えや決定**について**見直し、調整しよう**という気持ちになることがあるかもしれません。（**ヘブ 4:12** 神の言葉は生きていて、力を及ぼし…心の中にある考えや願いを明らかにする）そのような場合、**間接的な助言**を受けたことになります。では、**直接的な助言**とは何でしょうか。**長老や他の資格ある兄弟**から、**改善できる点**について**指摘**されることがあるかもしれません。そのような場合、**直接的な助言**を受けたことになります。**誰かが私たちに深く愛して聖書に基づく助言を与えてくれる時**、それを**受け入れて当てはめる**ことによって、**感謝を表す**ことができます。

4. **伝道の書 7 章 9 節**によると、**助言を受けた時**、**どんなことをしてはいけませんか**。

4 そうはいつでも、**直接的な助言を受け入れるのは難しい**ことがあります。**腹が立つこと**さえあるかもしれません。なぜでしょうか。**自分が不完全**だということを**認めるのはそれほど難しくありません**。それでも、**ほかの人から自分のできていないところについて指摘**されると、**受け入れにくく思う場合**があります。（**伝道の書 7:9** **すぐに腹を立ててはならない。腹立ちは愚かな人の胸にとどま**

る(if*愚かな人の特徴だ)を読む。) **自分は悪くない**と考えて**言い訳**したり、助言を与えてくれた人の**動機を疑**ったり、**助言の仕方が悪い**と感じたりすることがあるかもしれません。助言を与えてくれた人の**欠点に目を向けて**、「**あの人から助言される筋合いはない**」とか、「**あの人にだって欠点がある**」と思うこともあり得ます。さらに悪いことに、**自分が気に入らない助言は無視**し、**自分が気に入るような助言をほかの人に求める**ことさえするかもしれません。

5. この記事ではどんなことを考えますか。

5 この記事では、①**助言を退けた人**と助言を**受け入れた人**の**例**を**聖書から**調べます。また、②**どうすれば助言やアドバイスを当てはめて役立てる**ことができるかも考えます。

助言を退けた人

6. 助言に対するレハベアム王の反応から、どんなことを学べますか。

6 ソロモンの子 **レハベアム**の例を考えてみましょう。 **レハベアムが王になった時**、**民が**やって来て、**ソロモンに負わされた荷を軽くしてほしい**と願い出ました。レハベアムは、どうすべきかについて**年長者たちに相談**しました。それは良いことでした。年長者たちは、**民の願いを聞き入れるなら民はずっとあなたに仕えるだろう**、と言いました。([王一 12:3-7](#) **人々はヤラベアムを呼び寄せた**。その後、ヤラベアムとイスラエルの会衆全体はレハベアムのもとに行き、こう言った。4 「あなたの父上は私たちに過酷な荷(d*てんびん棒)を負わせました。あなたがその過酷な労働を楽にし、あなたの父上に負わされた重い(*つらい)荷(d*てんびん棒)を軽くしてくださるなら、私たちはあなたに仕えます」。5 レハベアムは言った。「いったん帰り、あさって(*3日)戻ってきなさい」。それで民は去っていった。6 レハベアム王は、父ソロモンが生きていた頃に父に仕えていた年長者(*長老)たちに相談し、こう言った。「この民にどう答えたらよいか、何か助言がありますか」。7 彼らは言った。「今日、あなたがこの民に仕え、民の願いを受け入れて良い返答をするなら、民はずっとあなたに仕えるでしょう」) しかし、**レハベアムはこの助言が気に入らなかったようで**、一緒に育った**同年代の人たちにも相談**しました。彼らはおそらく **40代**だったので、**ある程度の人生経験を積んで**いたでしょう。([代二 12:13](#) **レハベアム王はエルサレムで権力を強め、引き続き治めた。レハベアムは41歳で王になり、エホバがご自分の名を付すためにイスラエルの全部族の領地から選んだ都市エルサレムで17年治めた**。王の母はナアマといい、アンモン人だった) しかし、この時はレハベアムに**良くない助言**をしました。**民の荷をさらに重くするように**と勧めたのです。([王一 12:8-11](#) **ところが、レハベアムは年長者(*長老)たちの助言を無視し、共に成長して今は自分の従者となっている若者たちに相談した**。9 こう尋ねた。「民にどう答えたらよいか、何か助言があるか。民は、『あなたの父上が私たちに負わせた荷を軽くしてください』と言っている」。10 レハベアムと共に成長した若者たちはこう言った。「民が、『あなたの父上は私たちに重い荷を負わせました。私たちのためにその荷を軽くしてください』と言っているなら、こう言うといと思います。『私は父よりも厳しくする(d*私の小指は私の父の腰よりも太くなる)。11 父はあなたたちに重い荷を負わせたが、私はその荷をいっそう重くする。父はあなたたちをむちで懲らしめたが、私はとげむちで懲らしめる』」) レハベアムは**異なる2つの助言**を聞いて、**どちらに従うべきかをエホバに尋ねる**こともできたでしょう。しかし、そうする**のではなく**、自分が**気に入った**、**同年代の人たちからの助言に従い**ました。どうなったでしょうか。レハベアムにとっても、民にとっても、**悲惨な結果**になりました。私たちが受ける**助言**

やアドバイスも、受け入れやすいものばかりというわけではないかもしれません。とはいえ、その助言やアドバイスが聖書に基づいているなら、私たちはそれに耳を傾ける必要があります。

7. ウジヤ王の例からどんなことを学べますか。

7 **ウジヤ**王も助言を退けました。ウジヤは、神殿で祭司だけが入ることを許されていた場所に入っていく、香をたこうとしました。エホバに仕える祭司たちは、ウジヤを止めようとしてこう言いました。「**ウジヤ、エホバに香をたくのはあなたがしてよいことではありません！**香をたいてよいのは祭司だけです」。それに対して、ウジヤはどうしたのでしょうか。この時、謙遜に助言を受け入れて、すぐにその場を離れていたなら、エホバから許していただけたかもしれません。しかし、ウジヤはそうするのではなく、「**激怒し**」ました。なぜそのような反応をしたのでしょうか。ウジヤは、「**自分は王だから、したいことは何でもできる**」と考えていたのかもしれません。しかし、それは**エホバの考えではありません**でした。ウジヤは、**出過ぎた行動**をした結果、**エホバに打たれ**、「**死ぬ日まで重い皮膚病を患**」いました。（**代二 26:16-21**）ところが、ウジヤは強くなると**すぐに心が傲慢になって身を滅ぼした**。エホバの神殿に入って香の祭壇で香をたこうとし、エホバ神に対して不忠実なことをしたのである。17 祭司アザリヤとエホバの勇敢な祭司 80 人が、すぐさまウジヤの後から入っていった。18 彼らはウジヤ王の前に立ちはだかって、言った。「ウジヤ、エホバに香をたくのはあなたがしてよいことではありません！香をたいてよいのは祭司だけです。祭司たちはアロンの子孫で、神聖なものとされているからです。この聖なる所から出ていってください。あなたは**不忠実なことをしました**。そのため、あなたが**エホバ神から栄光を与えられることはありません**」。19 しかしウジヤは、**香をたくための香炉を手にしたまま、激怒した。祭司たちに怒りをぶつけていると、彼の額に重い皮膚病が現れた**。エホバの家の中にいた祭司たちの前、香の祭壇のそばでのことだった。20 祭司長アザリヤと祭司たち皆が見ると、彼の額は重い皮膚病に侵されていた。彼らは急いでウジヤをそこから出そうとし、ウジヤ自身も慌てて出ていった。**エホバが彼を打ったのである**。21 **ウジヤ王は死ぬ日まで重い皮膚病を患った**。重い皮膚病のため、**隔離された家に住み続けた。エホバの家から閉め出されたのである**。ウジヤの子ヨタムが王の家(*宮殿)を治め、民を裁いた）ウジヤの例からどんなことを学べますか。私たちは**どんな立場にあるとしても、聖書に基づく助言やアドバイスを退けるなら、エホバを深く悲しませてしまうことになる**、ということです。

助言を受け入れた人

8. ヨブは助言を与えられた時、どうしましたか。

8 聖書には、ここまで考えてきたような悪い例だけでなく、助言を受け入れて祝福された人たちの良い例も載せられています。**ヨブ**のことを考えてみましょう。ヨブは**神を畏れる人**でしたが、**完全ではありませんでした**。**強いストレスを感じ**ていたために、**正しくないことを言**ってしまいました。その結果、**エリフとエホバから率直な助言**を与えられました。ヨブはどう反応したのでしょうか。助言を**謙遜に受け入れ**てこう言いました。「**私は話しましたが、分かっていませんでした**。……言ったことを**撤回し、後悔して土と灰をかぶります**」。エホバは、謙遜さを示したヨブを**祝福**しました。（**ヨブ 42:3-6**）**あなたはこうおっしゃいました。『知らないのに、私の考えを覆い隠しているのは誰か』**。私は話しましたが、分かっていませんでした。あまりにも素晴らしい事実を理解していませんでした。4 こうもおっしゃいました。『どうか聞いてほしい。私が話そう。あなたに質問しよう。あなたは私に答えな

さい』。5 あなたのことを耳で聞いてはいましたが、今ではあなたをこの目で見ております。6 それで、言ったことを撤回し、後悔して土と灰をかぶります」、[12-17](#) エホバがヨブを祝福したので、ヨブの残りの人生は以前よりも豊かになった。ヨブは、羊 1 万 4000 匹、ラクダ 6000 頭、牛 1000 対、雌ロバ 1000 頭を持つようになった。13 さらに、息子 7 人と娘 3 人を持つようになった。14 そして長女をエミマ、次女をケツィア、三女をケレン・ハプクと名付けた。15 ヨブの娘たちほど美しい女性は何の地方にもいなかった。娘たちは兄弟たちと同じように父親から財産をもらった。16 こうしてヨブはさらに 140 年生き、自分の子供と孫、4 世代を見た。17 ヨブは長生きして充実した日々を送り、やがて生涯を終えた)

9. モーセが助言を受け入れる点で良い手本と言えるのはなぜですか。

9 重大な間違いを犯した後で助言を受け入れたという点で、**モーセ**も良い手本です。ある時、**モーセ**は腹を立て、エホバに敬意を示しませんでした。その結果、**約束の地に入る**ことができなくなりました。(民 20:1-13 **イスラエル人の民全体は、第 1 の月にチンの荒野に入り、民はカデシュにとどまることになった。ミリアムはそこで死に、葬られた。2 そこには民のための水がなく、民はモーセとアロンに逆らって集合した。3 民はモーセに不平を言った。「兄弟たちがエホバの前で死んだ時に、私たちも死んでいればよかった。4 どうしてエホバの会衆をこの荒野に連れてきて、私たちと家畜をここで死なせるのか。5 どうして私たちをエジプトから連れ出して、こんなひどい場所に連れてきたのか。ここでは種をまけず、イチジクやブドウやザクロも育たない。飲む水もない」。**6 **モーセとアロンは会衆の前から離れ、会見の天幕の入り口に来てひれ伏した。するとエホバの栄光が現れ始めた。7 エホバはモーセに言った。8 「つえを取って民を呼び集め、あなたと兄のアロンが民の目の前で大岩に話して、水を出させなさい。あなたは民のために大岩から水を出し、民と家畜に飲ませる」。**9 **モーセは命じられた通りにエホバの前からつえを取った。10 モーセとアロンは会衆を大岩の前に呼び集め、モーセが民に言った。「さあ聞きなさい、反逆者たち！ この大岩から私たちがあなたたちのために水を出さないといけないのですか」。**11 **モーセは手を上げ、つえで大岩を 2 度打った。すると、たくさんの水が出てきて、民と家畜は飲みだした。12 その後エホバはモーセとアロンに言った。「あなたたちは、私に信仰を示さず、イスラエルの民の目の前で私を神聖なものとしなかったの、私が与える土地にこの会衆を連れて入ることはない」。**13 **これがメリバ(m*言い争い)の水である。イスラエル人がそこでエホバに不平を言い(*と言い争い)、神は彼らの間で自分を神聖なものとした)** **モーセは、この決定を考え直してほしいとエホバにお願いしましたが、エホバから、「この件について二度と私に話してはならない」**と言われてしまいました。(申 3:23-27 **25 どうか私に渡っていかせ、ヨルダン川の向こうの良い土地、良い山地とレバノンを見させてください」。**26 **しかし、エホバは皆さんのことで私に激怒したままで、願いを聞き入れてくださいませんでした。エホバはこう言いました。『あなたの話はもう十分だ！ この件について二度と私に話してはならない。27 ピスガの頂上に登り、西、北、南、東に目を向けて、その土地を自分の目で見なさい。あなたはこのヨルダン川を渡らないからである)** この時、モーセは**ふてくされるのではなく、エホバの決定を受け入れ**ました。そして、**エホバ**は引き続きモーセに**イスラエルを導かせ**ました。(申 4:1 **イスラエル、私が教える規定と法規を聞いて、守りなさい。皆さんが生き、父祖の神エホバが与えてくださる土地に入ってそれを取得するためです)** **ヨブもモーセも、助言を受け入れる点で私たちの良い手本となっています。ヨブは、言い訳したりせずに見方を調整**しました。**モーセは、エホバからの助言を受け入れ、自分が強く願っていたことがかなわなくなっても、忠実を保ち**ました。

10. (ア) [格言 4 章 10-13 節](#)からすると、助言を受け入れることはどのように私たちのためになりますか。(イ) 助言に対して良い態度を示したどんな実例がありますか。

10 ヨブやモーセのような忠実な人たちの手本に従うなら、私たちのためになります。([格言 4:10-13](#) わが子よ、聞いて、私の言葉を受け入れよ。そうすれば、あなたは長く生きられる。 11 私はあなたに知恵の道を教え、真っすぐな道を歩ませる。 12 あなたが歩くとき、歩みは妨げられず、走っても、つまずかない。 13 指導をしっかりとつかめ。それを放してはならない。それを失ってはならない。命が関係しているからであるを読む。) 大勢の兄弟姉妹がそのようにしています。コンゴのエマニュエル兄弟はこう言っています。*一部の名前は変えてあります。「会衆の責任ある兄弟たちは、私が信仰の面で“沈没”しかけていることに気付いて、救助に来てくれました。私は、兄弟たちからの助言を受け入れたので、さまざまな問題を経験せずに済みました」。カナダの開拓者であるメーガン姉妹はこう言います。「耳が痛いと思うこともありますが、助言に耳を傾けるのは本当に大切なことです」。クロアチアのマルコ兄弟はこう言います。「私は会衆での責任ある立場を失ってしまいました。でも、今考えてみると、与えられた助言のおかげで、エホバとの絆を取り戻すことができたんだと思います」。

11. カール・クライン兄弟は、助言を受け入れることについてどんなことを述べていますか。

11 助言を受け入れてそこから学んだ人として、統治体の成員だったカール・クライン兄弟がいます。兄弟はライフ・ストーリーの中で、親しかったジョセフ・F・ラザフォード兄弟から強い助言を受けた時のことについて語っています。兄弟は最初、助言に対して良い反応ができませんでした。こう述べています。「その後また[ラザフォード]兄弟に会った時に、兄弟は明るい態度で、『こんにちは、カール！』と言いました。しかし、心の傷がいえていなかったために、私は聞き取れないような小さな声であいさつをただけでした。するとラザフォード兄弟は、『気をつけなさい、カール！悪魔があなたを捕らえようとしています！』と言いました。私はどぎまぎして、『いえ、何でもありません、ラザフォード兄弟』と答えました。しかし、ラザフォード兄弟にはすっかりお見通しだったので、『いいでしょう。ただ気をつけなさい。悪魔があなたを捕らえようとしています』というその警告を繰り返しました。まさに兄弟の言うとおりでした。ある兄弟に対して恨みの気持ちを抱くと、相手の兄弟が……言う権限のある事柄を述べていた場合にはなおのこと、悪魔のわなにかかる危険に防備もなくさらされることになります」。*「ものみの塔」1984 年 10 月 15 日号 24-31 ページ ([エフェ 4:25-27](#) 皆さんは偽りを捨て去ったのですから、隣人に真実を語りましょう。私たちは皆で 1 つの体を構成しているのです。26 腹が立っても、罪を犯してはなりません。怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう。27 悪魔に隙を与えてはなりません) クライン兄弟はラザフォード兄弟からの助言を受け入れ、2 人はその後も友情を保ちました。

助言を受け入れる上で何が助けになるか

12. 謙遜であることは、助言を受け入れる上でどのように助けになりますか。([詩編 141:5](#))

12 助言を受け入れる上で、どんなことが助けになるでしょうか。謙遜であることです。私たちは、自分が不完全であることや、時には愚かなことをしてしまうということを覚えておく必要があります。先ほど考えた通り、ヨブは間違った考え方をしてしまいましたが、それを正したのでエ

ホバから祝福されました。そのように正すことができたのは、ヨブが謙遜だったからです。謙遜だったからこそ、自分よりずっと年下のエリフの助言さえ受け入れることができたのです。（ヨブ 32:6, 7）そこでブズの子孫、バラクエルの子エリフは話し始めた。「私は若く、皆さんはお年を召しています。それで私は敬意を込めて身を引き、自分が知っている事を述べませんでした。7『年老いた者(d*日々)が語り、年を重ねた者が知恵を知らせればよい』と考えました）私たちも、自分には当てはまらないと思えるような助言を受けたり、年下の人から助言を与えられたりすることがあるかもしれませんが、謙遜であるなら、そうした助言を受け入れて当てはめることができます。カナダのある長老はこう言います。「人は自分のことを客観的に見ることができないので、誰かから助言してもらわなければ、成長することはできません」。聖なる力が生み出すものをいっそう示したり、宣教をさらに上手に行ったりする面で、私たちは皆、成長する必要があるのではないのでしょうか。（詩編 141:5 正しい人が私を打つとしても、それは揺るぎない愛の表れです。私を戒めるとしても、それは頭に注がれる油のようであり、私がそれを拒むことはありません。彼らが災難に遭う時、私は祈り続けますを読む。）

13. 助言をどのように考えることができますか。

13 助言をエホバが愛してくださっている証拠と考える。エホバは私たちの幸せを心から願っています。（格 4:20-22 わが子よ、私の言葉に注意を払え。私の言葉をよく聞くように。21 それを見失ってはならない。心にしっかりとどめよ。22 それを受け入れる人たちにとって、それは命であり、全身を健康にする）ですから、エホバが聖書や出版物や経験豊かな兄弟姉妹を通して私たちに助言を与えることは、エホバが愛してくださっている証拠なのです。ヘブライ 12章 9, 10節 また、私たちは人間の父親から矯正を受け、父親に敬意を払いました。ではなおのこと、天の父(*聖なる力によって生活を導いてくださる父)に従って生きるべきではないのでしょうか。10 人間の父親は、自分が良いと思うように私たちに短い間矯正しましたが、天の父は、私たちのために矯正を与え、私たちが神のように聖なる者になれるようにしてくださいに、「天の父は、私たちのために矯正を与え[る]」とある通りです。

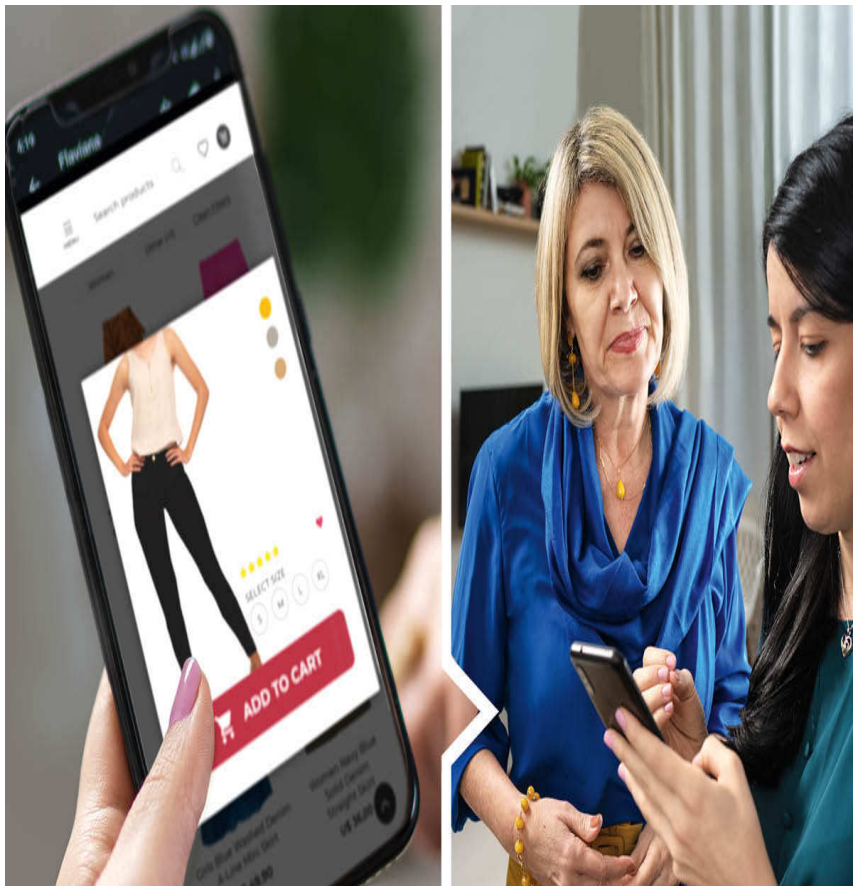
14. 助言を受けた時には、何に注目すべきですか。

14 助言の仕方ではなく、内容に注目する。助言する人は、それを受け入れやすい仕方で与えるように努力する必要があります。*次の記事では、どうすれば上手に助言できるかを考えます。（ガラ 6:1 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして十分に資格がある(*聖なる力に導かれている)皆さんは、その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください）とはいえ、助言を受けた時には、もっとほかの方法があったのではないかと感じることもあるかもしれません。そのような時にも、助言の内容に目を向けるのは良いことです。次のように考えてみることができます。「助言の仕方には気に入らないところがあったけれど、内容には思い当たるところがないだろうか。助言をしてくれた人の不完全さではなく、助言の内容に目を向けられないだろうか」。どんな助言を与えられるとしても、それを生かすよう努力するのは良いことです。（格 15:31 命を与える戒めを聞く人は、賢い人々の中で暮らしている）

自分から助言を求めるなら良い結果が得られる

15. 自分から助言を求めると良いのはなぜですか。

15 聖書は私たちに助言を求めるよう勧めています。格言 13 章 10 節…助言を求める(*協議する)人たちには知恵があるには、「助言を求める人たちには知恵がある」とあります。本当にその通りです。誰かが助言してくれるのを待つのではなく、自分から助言を求める人は、そうしない人よりも、クリスチャンとしていっそう成長できるものです。ですから、自分から助言を求めるようにしましょう。



この若い姉妹が、年長の姉妹にアドバイスを求めているのはなぜか。（16 節を参照。）

16. どんな時に助言やアドバイスを求めることができますか。

16 どんな時に仲間の兄弟姉妹に助言やアドバイスを求めるとよいでしょうか。幾つかの例を考えてみましょう。（1）聖書レッスンを行っている姉妹は、経験を積んだ伝道者にレッスンに参加してもらい、レッスンの後でどうすればもっと上手に教えることができるかについてアドバイスを求めることができます。（2）服を買おうと思っている独身の姉妹は、年長の姉妹に率直な意見を求めることができます。（3）初めて公開講演を行う兄弟は、経験を積んだ講演者に、話をよく聞いて改善できる点を教えてくれるよう頼むことができます。講演を長年行っている兄弟も、同じようにアドバイスを求め、それを当てはめるのは良いことです。

17. どうすれば助言を役立てることが出来ますか。

17 私たちはこれからも、直接的な助言や間接的な助言を受けることでしょう。そういう時には、この記事で学んだ点を思い出すようにしましょう。謙遜であり続けることは大切です。助言の仕方ではなく内容に注目しましょう。そして、与えられた助言を当てはめるようにしましょう。生まれた時から賢い人は一人もいません。それでも、聖書が約束している通り、「助言を聞き、指導を受け入れ」るなら、「賢くなる」ことができるのです。（格 19:20 助言を聞き、指導を受け入れよ。将来、賢くなるため）

どのように答えますか

I. 助言を退けた聖書中の例から、どんなことを学べますか。

・S06 レハベアムは異なる2つの助言のどちらに従うべきかをエホバに尋ねず、自分が気に入った同年代の人たちからの助言に従い、悲惨な結果になった。私たちが受ける助言やアドバイスも、受け入れやすいものばかりではなくても、その助言やアドバイスが聖書に基づいているなら、私たちはそれに耳を傾ける必要がある

・S07 ウジヤは、神殿で祭司だけが入ることを許されていた場所に入っていく、香をたこうとした時、祭司たちがウジヤを止めようとしたが、激怒しその助言に従わず出過ぎた行動をした結果、エホバに打たれ、死ぬ日まで重い皮膚病を患った。私たちがどんな立場にあるとしても、聖書に基づく助言やアドバイスを退けるなら、エホバを深く悲しませ、是認を失うことになる

II. 助言を受け入れた聖書中の例から、どんなことを学べますか。

・S08 ヨブは強いストレスを感じていたために、正しくないことを言ってしまった結果、エリフとエホバから率直な助言を受けたが、言い訳せず謙遜に受入れ見方を調整したため、祝福された

・S09 ある時、モーセは腹を立て、エホバに敬意を示さなかったので、約束の地に入ることができなくなった。この神の決定を考え直してもらえなかったが、モーセはふてくされるのではなくエホバの決定を受け入れたため、エホバは引き続きモーセにイスラエルを導かせ、忠実を保った

・S10 こうした忠実な人たちの手本に従うなら、私たちのためになり、命を得ることになる

III. 助言を受け入れる上で、何が助けになりますか。

・S12 自分には当てはまらないと思えるような助言を受けたり、年下の人から助言を与えられたりしても、謙遜であるなら、そうした助言を受け入れて当てはめることができる

・S13 エホバが聖書や出版物や経験豊かな兄弟姉妹を通して私たちに助言を与えることは、エホバが愛してくださっている証拠であると考え

・S14 助言を受けた時には、もっとほかの方法があったのではないかと感じて、その助言の内容に目を向けるのは良いことで、次のように考えてみることができる。「助言の仕方には気に入らないところがあっても内容には思い当たるところがないか。助言をしてくれた人の不完全さではなく、助言の内容に目を向けられないか」。どんな助言を受けるとしても、それを生かすよう努力するのは良いこと

124 番の歌 揺るぎない愛